

IV 地域保健課・こども家庭課事業実績

1 健康づくり推進事業

(1) 地区における健康づくり活動

目的：地区まちづくり協議会が、地区における健康課題を解決できるよう、地区担当保健師が統計情報や地区活動・保健サービス等の提供時に把握したこと等に基づき捉えた健康課題を明らかにし、地区まちづくり協議会と共有、解決に向けて連携することにより効果的に健康づくりの推進を行う。

内容：地区担当保健師が地区における健康課題をとらえ、地区まちづくり協議会と情報共有し、協働で地区における健康づくり活動を行う。

実施状況：

方法	実施地区	実施先及び内容
ア 地区担当保健師と地区まちづくり協議会のつなぎ役の設置	26 地区	健康スポーツ部会、総務部会、女性の会、福祉部門長、福祉健康委員会、体育保健部、福祉推進会、ふれあい部会、事務局、代表委員会、福祉部、まちづくり協議会会長、区長、まちづくりセンター長等
イ 地区状況や地区健康課題を作成し、まちづくり協議会の部会等において説明	25 地区	地区まちづくり協議会理事会、地区まちづくり協議会役員会、町内会長会議、健康スポーツ部会、体育部、生涯学習部会、福祉推進会、青少年育成委員会、民生委員児童委員協議会、地区有償ボランティア、ふれあいいいきサロン等
ウ まちづくり協議会と健康課題について協議	24 地区	
エ まちづくり協議会と協働の健康づくり活動の企画・実施	25 地区	- 健康に関する講演会の実施 5 地区 - 大腸がん予防啓発ちらしの全戸配布 1 地区 - 地区概況等を掲載した健康だよりの全戸配布 2 地区 - 地区まちづくり協議会のホームページやInstagramに健康課題の記事掲載 1 地区 - まちづくりセンターに健康課題の掲示 1 地区 - 女性の会において勉強会実施 1 地区 - 健康づくりをすすめる団体と協働で活動を企画・実施 2 地区 - 文化祭にて健康測定・啓発活動の実施 21 地区 - 地区イベント（スポーツフェスティバル、各種イベント等）にて健康測定・啓発活動の実施 18 地区 - まちづくり協議会の健康講座及びまちの保健室にて健康測定 4 地区

(2) 健康広げ隊の活動

目的：健康推進員の経験や人とのつながりを生かして、地区保健活動への協力・支援を行い、主体的なボランティア活動等を実施することで、自身の健康と生きがいを結びつけ、更には健康な地域づくりを目指す。

人数：39 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）

内容：地区活動での準備片付け・受付、インボディ、血管年齢、内転筋力、握力等の測定及び介助

活動状況： (単位：回・人)

内 容	回 数	人 数
連絡会	1	13
地区活動	36	延べ 74

(3) 職域への健康対策支援事業

目 的：「健康ふじ 21 計画Ⅲ」に基づき、働き盛り世代の検診受診率向上や生活習慣病予防を図る。

ア ふじ職域健康リーダーの設置推進・育成

目 的：事業所にふじ職域健康リーダーを設置し、地域職域保健の連携を強化する。

設 置 数：156 事業所(令和 7 年 3 月 31 日現在)

ふじ職域健康リーダー新規設置事業所への支援：9 事業所

(訪問：9 事業所)

ふじ職域健康リーダー継続事業所への電話支援：143 事業所

情報提供：生活習慣病等の健康情報を郵送 年 1 回

イ 事業所での健康講座

目 的：事業所の依頼等により健康講話を行い、勤労者の健康増進・生活習慣病予防等の疾病予防を図る。

実施状況： (単位：人)

実施事業所	テーマ	参加者数
中日本ハイウェイパトロール東京 (株)	メタボ改善のための食事のとり方	26
富士市商工会議所	食事について食と生活習慣チェック結果より	29
クミアイ化学工業	メタボ予防	34
信興バス	食事内容やとり方	34
東京電機管理技術協会	血圧について	49
森電機製作所	お腹引き締め・腰痛予防の運動	12
東名電機株式会社	睡眠のための運動	42
合 計		226

ウ 事業所での健康相談

目 的：勤労者世代の健康対策として、事業所従業員を対象に生活習慣をふり返るきっかけを提供し、健康行動を支援する。

内 容：事業所内で簡易健康チェックの実施

インボディ測定、骨密度測定、血管年齢測定等と結果説明および保健指導

実施状況：

(単位：人)

実施事業所	参加者数	実施事業所	参加者数
静岡ガス株式会社富士支社	117	村松電機株式会社	25
株式会社キャリアドライブふじさん Bu-Bu 保育園	11	友田運送株式会社	15
株式会社アクア富士天間	16	鈴昭運輸株式会社	14
松本工業株式会社	25	株式会社キャリアドライブ 静岡県富士自動車学校	20
株式会社伊藤電気	8	富士にじいろ保育園	10
日本キャリア株式会社富士事業所	116	株式会社森電機製作所	10
エコフィールド株式会社	13	荒川化学工業株式会社 富士工場	44
愛心援助サービス株式会社	23	有限会社ビーシー	6
株式会社アイワ	11	株式会社旭化成アビリティ 富士営業所	38
合 計			522

(4)野菜摂取普及啓発活動

目 的：バランスの良い食習慣の確立を目指し、一般市民を対象に不足しがちな野菜摂取や、
バランスの良い食生活に関する普及啓発を行う。

内 容：野菜レシピ・チラシの配布・配信と野菜レシピの新聞掲載による啓発活動

実施状況：

(単位：回・枚)

事業名	内容	回数	枚数
野菜摂取普及啓発活動	JA 産直市野菜レシピ配布	90	2,271
	企業への野菜レシピメール配信	6	4,500
	富士ニュース野菜レシピ掲載	11	198,000
	野菜摂取チラシ配布	96	6,685
合 計		203	211,456

2 健康増進事業

健康増進法に基づき 40 歳以上の市民を対象に、健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導を実施した。

(1) 健康教育

ア がん共生セミナー

目的：がんについて正しく知り、がんと診断されても家庭や地域・職場で支え合い、相談や支援が受けられる「がんと共生」について理解を深める。

対象：職域事業所の管理者等および一般市民

実施状況：

(単位：人)

	内 容	講 師	参加者数
第 1 課	がん予防・がん検診 がん相談支援センター がん治療の現状	健康政策課 看護師 医 師	14
第 2 課	がん治療とくすり がん治療と緩和ケア がん治療と暮らし（栄養・アピランスケア）	薬剤師 看護師 管理栄養士・看護師	15
第 3 課	がん治療と仕事の両立支援 がん患者サロン がんと共に生きる	社会保険労務士 看護師 ピアサポーター	12

イ 女性のがん予防

市民一人ひとりが女性のがんについて正しく知り、早期発見・早期治療に自ら積極的に取り組むことを促すために、乳がんのセルフチェック等を含む啓発用動画を作成した。

骨の健康相談会や幼児健診、地区活動での活用、YouTube 配信、DVD の貸出を実施した。

ウ その他健康教育（健康増進事業以外も含む）

実施状況（事業での再掲含む）：

(単位：回・人)

内 容	回 数	参加者数
地区活動による健康教育（地区概況と健診のすすめ、生活習慣病予防、フレイル予防、応急救護等）	124	2,633
健康広げ隊連絡会	1	13
栄養士その他講座	46	784
職域健康教育	15	239
がん共生セミナー	3	41
地区防災関連	14	959
合 計	203	4,669

(2) 健康相談

ア お出かけ健康相談（啓発事業）

目的：身近な生活圏である商業施設、イベント等で気軽に相談でき、健康づくりの情報を得る環境を作ること、健康度の向上を図る

対象：市民、事業所従業員

内 容：健康チェック、健康相談

スタッフ：保健師、栄養士等

実施状況：

(単位：回・人)

会 場	回 数	参加者数
地区文化祭、地区イベント、 商業施設（マックスバリュ、JA ふじ伊豆）	47	3,075

イ 骨の健康相談

目 的：市民が骨粗しょう症やロコモティブシンドロームについて理解し、食事・運動等の生活習慣を改善することで、健康寿命が延伸できるようにする。

対 象：20 歳以上の市民

内 容：問診、推定骨量測定、保健指導

スタッフ：保健師、看護師

会 場：フィランセ 1 階 骨の相談室、まちづくりセンター

申込方法：電話予約

実施状況：

(単位：人・%)

年度 区分	令和 2			3			4			5			6		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
利用者	163	894	1,057	187	850	1,037	292	1,224	1,516	172	1,344	1,516	229	1,149	1,377
65 歳 以上者 割合	64.4	50.1	52.1	69.0	51.9	55.0	68.5	51.3	54.6	73.8	45.2	48.8	72.9	53.9	57.1
再利用 者割合	46.6	58.9	56.9	40.6	54.8	52.3	33.9	56.0	51.8	40.7	53.2	51.8	37.1	56.5	53.3

年度別の内訳：

(単位：回・人)

年度 区分		令和 4		5		6	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
骨の健康相談	フィランセ	24	410	22	374	34	556
	まちづくりセンター	25	439	37	621	26	402
乳がん検診と同時実施等		27	345	23	521	15	419
歯周疾患健診と同時実施		13	322	0	0	0	0
合 計		89	1,516	82	1,516	75	1,377

ウ 富士市まちの保健室

目 的：まちづくりセンター等で地区住民と顔の見える関係を作りながら、居住地区で気軽に健康相談等を受けることができるようにする。

対 象：市民

内 容：健康チェック、保健指導

スタッフ：保健師

会 場：まちづくりセンター、公会堂等

実施状況： (単位：回・人)

年度 区分	令和 6
回 数	41
参加者数	629

エ その他健康相談

実施状況（事業での再掲含む）：

（単位：回・人）

内 容	回 数	参加者数
地区活動等での健康相談 （インボディ・血管年齢・握力測定等、骨の健康相談、血圧測定等）	97	4,243
骨の健康相談	75	1,377
職域 健康相談・事業所訪問	31	479
職域 健康相談（電話）	151	151
保健師 電話相談	0	0
栄養士 電話相談	30	30
合 計	384	6,280

（３）訪問指導

ア 訪問指導

目 的：療養上の保健指導が必要と認められる者及び家族等に対して、訪問してその健康に関する問題を把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図る

対 象：40 歳以上の者

内 容：家庭における療養方法に関する指導、生活習慣病の予防、介護予防に関する指導、家族介護を担う者の健康管理、等

スタッフ：保健師、管理栄養士

実施状況：

（単位：人）

区分 \ 年度	令和 4	5	6
実人数	4	3	2
延人数	18	6	3

イ 受診勧奨訪問

目 的：国保特定健診の前年度未受診者等に対して継続的な受診を促し、健康寿命の延伸を図る

対 象：国保特定健診対象者（各地区の健康状況に合わせた抽出条件を設定する）

内 容：特定健診（集団・個別）の案内、地区の保健事業の案内等

スタッフ：保健師

実施状況：

（単位：人）

区分 \ 年度	令和 4	5	6
訪問人数	943	874	312
実際に会えた人数	684	662	207
特定健診等受診人数	198	176	79

3 地域支援事業

地域支援事業は、被保険者が要介護状態・要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として市町村が行うものである。

地域支援事業には「新しい介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」「包括的支援事業」「任意事業」があり、高齢者支援課が主体で行っているが、平成 30 年度より地域保健課が「一般介護予防事業」と「任意事業」の一部を執行委任により、65 歳以上の方を対象に実施している。

(1) 一般介護予防事業

ア 介護予防普及啓発事業(介護予防教室)

(ア) 栄養満点教室

目 的：フレイル予防や改善ための知識の普及を通じ、高齢者がいつまでも自立した生活が続けられるよう、生活の質（QOL）の向上を目指す。

内 容：フレイル予防のための食生活・運動・口腔衛生・嚥下に関する講話、体組成測定による評価。

実施状況： (単位：回・人)

年度 \ 区分	教室数	回数	実人数	延人数
令和 2	1	2	21	41
3	1	4	15	55
4	2	4	36	57
5	2	4	15	23
6	3	6	51	92

イ 介護予防普及啓発事業(自主グループによる介護予防教室)

(ア) ご近所さんの運動教室

目 的：運動教室を通して、元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指す。

内 容：介護予防サポーターが主催となり、歩いて通える会場での運動教室を行う。

実施状況： (単位：回・人)

年度 \ 区分	教室数	回数	実人数	延人数	サポーター 実人員
令和 2	58	940	699	8,482	70
3	64	1,276	718	10,017	78
4	74	1,703	913	13,830	91
5	75	1,811	845	15,737	93
6	73	1,943	956	18,058	100

(イ) ご近所さんの料理教室

目 的：身近な場所で、料理教室を通して、元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指す。

内 容：介護予防サポーターが主催となり、歩いて通える会場での料理教室を行う。

実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	教室数	回数	実人数	延人数	サポーター 実人員
令和	2	3	1	7	7	3
	3	2	4	7	28	2
	4	1	12	7	84	1
	5	1	12	7	84	1
	6	2	13	14	91	2

ウ 地域介護予防活動支援事業

(ア) 介護予防サポーター(運動)養成講座

目 的：介護予防の取組を地域に広めたいという意思のある人に対し、必要な知識と技術の習得を図り、ご近所さんの運動教室を開催できるサポーターを養成する。

内 容：介護予防(認知症・ロコモティブシンドローム)のポイントや高齢者の心身面を理解するための講義と、体操、ストレッチ、レクリエーション、ふじサンサン体操等の実技指導

実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	実施回数	実人数	延べ人数
令和	2	5	28	113
	3	4	9	34
	4	4	21	79
	5	4	20	74
	6	4	25	90

(イ) 介護予防サポーター(運動)現任研修

目 的：介護予防サポーター(ご近所さんの運動教室指導者)がより実践的な技術を習得し、主体的に活動できるよう支援する。

内 容：高齢者の体の動きを理解し、参加者が安心して実施できる運動指導技術等を学ぶ。

実施状況： (単位：回・人)

年度	区分	実施回数	実人数	延べ人数
令和	2	2	59	94
	3	2	37	37
	4	2	41	52
	5	2	47	68
	6	2	53	80

(ウ) 介護予防サポーター(栄養)養成講座

目 的：市民が高齢になっても、身近な場所に社会参加の場があり、役割を持ちながら、住みなれた場所でいきいきとした生活が送れることを目指すため、社会参加の場のひとつとして料理教室を開催できるサポーターを養成する。

内 容：講話と調理実習、低栄養予防、運動、口腔衛生についての知識を得る。

実施状況： (単位：回・人)

年度 \ 区分	実施回数	実人数	延べ人数
令和 2	1	17	17
3	2	11	22
4	4	7	28
5	4	6	23
6	4	9	34

(エ) 介護予防サポーターの活動支援

目 的：元気な高齢者を増やし、高齢者が活躍できる地域づくりを目指し、介護予防に資する「通いの場」を市内に多く展開できるよう、その活動を支援する。

実施状況： (単位：回・人)

教室	内容	回数	実人数	延人数
ご近所さんの運動教室	健康相談・健康講話	121	725	1,122
	看護師による個別相談※	120	145	254
ご近所さんの料理教室	健康相談・健康講話	1	7	7
交流会	連絡事項等の周知	1	34	34
理学療法士派遣	理学療法士による体力評価	36	362	362
栄養士派遣	栄養士による健康講話	18	201	201
歯科衛生士派遣	歯科衛生士による健康講話	17	200	200

※高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施により開始した教室参加者への個別支援事業（令和5年度開始）

4 母子保健事業

母子保健法に基づき、母性ならびに乳幼児の健康の保持及び増進(妊婦の妊娠・出産または育児についての正しい理解と自らの健康保持及び増進、ならびに乳幼児の保護者の育児についての正しい理解と乳幼児の健康保持及び増進)を図るため、保健指導、健康診査等の措置を講じ、国民保健の向上に寄与する。

(1) 不妊・不育治療費補助事業

ア 不妊・不育治療費補助金

目的：不妊治療又は不育治療に要する費用の一部補助を行い、不妊・不育に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。

対象：夫又は妻が市内に住所を有し、不妊治療又は不育治療を受けている夫婦（事実婚含む）

内容：補助は、当年度において不妊治療又は不育治療に要した費用から保険者が負担また助成した額及び静岡県不妊治療費（先進医療）補助金を控除した額の2分の1の額とし、1年度あたり50万円を限度とする(100円未満の端数は切り捨て)。

利用回数は、同一の夫婦に対して1年度あたり2回、通算5箇年度を限度とする。

実施状況：

(単位：人・円・%)

区分 年度	申請者		平均補助金額			妊娠確認数 (割合)
	実人数	延人数	一般 不妊 治療	生殖 補助 医療	不育 治療	
令和2	403 (一般153・生殖248・不育(再掲)16)	440	56,364	242,332	21,991	112(27.8)
3	403 (一般109・生殖293・不育(再掲)13)	445	50,118	230,840	19,160	101(25.1)
4	316 (一般64・生殖285・不育(再掲)6)	349	39,925	161,576	14,806	111(35.1)
5	265 (一般51・生殖231・不育(再掲)8)	282	41,718	155,174	28,331	110(41.5)
6	301 (一般73・生殖228・不育(再掲)6)	314	30,626	148,225	15,883	105(34.9)

※令和4年4月から不妊治療の保険適用範囲が拡大したことを受け静岡県特定不妊治療費補助金が廃止された。

※令和4年4月から県の一般不妊治療（人工授精）費等助成事業費補助金が改正されたことを受け、人工授精治療費補助金を廃止し、不妊・不育治療費補助金に統一した。

※令和5年4月から生殖補助医療（特定不妊治療）において年齢要件を設けた。（当該治療周期開始時において、女性の年齢が43歳未満）

※令和6年4月から県において静岡県不妊治療費（先進医療）補助制度が開始された。

(2)母性保健

ア 母子健康手帳交付(こども家庭課)

目 的：母子健康手帳交付時に個別に面談し、妊婦の健康維持・増進のために相談に応じ、知識の普及を図る。また産前や、産後の育児支援のために必要な保健事業につなげるきっかけとする。

対 象：妊婦、その配偶者等

内 容：妊娠届出書受理と母子健康手帳の交付、セルフプランの作成、妊娠・出産に関する保健指導

スタッフ：保健師

会 場：こども家庭センター 母子相談室

実施状況：月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

日曜日(第1日曜日)午前9時～午後4時 255日

(ア)妊娠届出状況

(単位：人・%)

区分 年度	妊 娠 届 出 数		妊 娠 週 数					妊娠届出者の状況(再掲)		
			11 以下	12～19	20～27	28 以降	出産後	初妊婦	10 代	外国人
令和 2	実人数	1,587	1,504	64	10	9	0	731	24	90
	割 合	100.0	94.8	4.0	0.6	0.6	0	46.1	1.5	5.7
3	実人数	1,531	1,463	50	11	6	1	702	24	74
	割 合	100.0	95.6	3.3	0.7	0.3	0.1	45.9	1.6	4.8
4	実人数	1,436	1,360	63	5	7	1	677	22	91
	割 合	100.0	94.7	4.4	0.3	0.5	0.1	47.1	1.5	6.3
5	実人数	1,319	1,241	61	10	6	1	638	18	92
	割 合	100.0	94.1	4.6	0.8	0.5	0.1	48.4	1.4	7.0
6	実人数	1,356	1,287	50	12	5	2	666	19	142
	割 合	100.0	94.9	3.7	0.9	0.4	0.1	49.1	1.4	10.5

(イ)妊婦の喫煙・飲酒状況

(単位：人・%)

区分 年度	妊 娠 届 出 数		喫 煙 状 況		飲 酒 状 況	
			やめた	吸っている	やめた	飲 む
令和 2	実人数	1,587	237	40	770	6
	割 合	100.0	14.9	2.5	48.5	0.4
3	実人数	1,531	234	27	756	4
	割 合	100.0	15.3	1.8	49.4	0.3
4	実人数	1,436	200	35	687	4
	割 合	100.0	13.9	2.4	47.8	0.3
5	実人数	1,319	166	29	622	6
	割 合	100.0	12.6	2.2	47.2	0.5
6	実人数	1,356	165	33	630	8
	割 合	100.0	12.2	2.4	46.5	0.6

イ 妊婦健康診査(こども家庭課)

目 的：妊婦が定期的に健康診査を受診することにより、急激な母体変化による異常や胎児異常の早期発見及び異常出産・未熟児出産の予防等のため、適切な保健指導が受けられるよう公費による妊婦健康診査を委託医療機関等において実施し、妊婦の保健管理の向上を図る。

対 象：母子健康手帳の交付を受けた妊婦

内 容：健康状態（保健指導、定期検査を含む）の把握、子宮頸がん検診（細胞診）
血液検査：血液型（ABO 血液型・RH 血液型・不規則抗体）、血算、血糖、B 型肝炎抗原検査、C 型肝炎抗体検査、梅毒血清反応検査、風疹ウイルス抗体価検査、トキソプラズマ、HIV 抗体価検査、HTLV-1、クラミジア検査、腹部超音波検査、B 群溶血性レンサ球菌（GBS 検査）

実施状況：基本健診 14 回(超音波検査 4 回、血液検査 1 回、血算検査 1 回、GBS 検査 1 回は健診と同時実施) 予定日超過の場合 2 回まで基本健診補助 延べ受診人数 24,605 人

ウ 多胎妊婦健康診査(こども家庭課)

目 的：単胎妊娠よりも負担の大きい多胎妊娠のより安全な分娩と健康な児の出産のため、医療機関において公費負担による多胎妊婦健康診査を実施することにより、多胎妊婦の保健管理の向上を図る。

対 象：母子健康手帳の交付を受けた多胎妊婦

内 容：健康状態（保健指導、定期検査を含む）の把握

実施状況：基本健診 5 回追加

延べ受診人数 0 人

エ 妊婦歯科健康診査(こども家庭課)

目 的：妊婦の口腔内の改善、歯周病等の早期発見と治療や予防、生まれてくるこども（胎児）の健康増進を図る。

対 象：母子健康手帳の交付を受けた妊婦

実施状況：市内 99 医療機関で実施

受診状況及び受診結果：

(単位：人・%)

区分 年度	対象者数	受診者数	受診率	受 診 結 果					
				異常なし	割合	要指導	割合	要精検	割合
令和 6	1,139	377	33.1	78	20.7	138	36.6	161	42.7

歯数、歯周炎の状況：

(単位：本・人)

区分 年度	※ ¹ 現在歯数 (平均)	※ ² 健全歯数 (平均)	※ ³ 進行した歯周炎を有する人
令和 6	28.4	21.1	21

※¹ 現在歯：歯の全部または一部が口腔内に現れているもの

※² 健全歯：う蝕あるいは歯科的処置が認められないもの

※³ 進行した歯周炎：歯周疾患の検査である C P I 検査で 6mm 以上の深い歯周ポケットのあるもの

才 基本健診 妊婦健康診査受診状況(こども家庭課)

(単位：人)

受診券交付者実人数 (A)	1,356
健診受診実人数	2,015

(単位：人・%)

		基本健診															
		初回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回
健診受診人数 (B)		1,314	1,160	1,233	1,240	1,237	1,240	1,230	1,200	1,163	1,185	1,179	1,116	872	524	217	60
受診率 (B/A)		96.9	85.5	90.9	91.4	91.2	91.4	90.7	88.5	85.8	87.4	86.9	82.3	64.3	38.6	16.0	4.4
1	所見なし	1,180	1,152	1,231	1,234	1,218	1,226	1,213	1,179	1,147	1,171	1,162	1,099	856	519	216	60
2	所見あり	134	8	2	6	19	14	17	21	16	14	17	17	16	5	1	0
	妊娠高血圧症	0	1	0	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0
	妊娠糖尿病	1	2	1	1	3	1	0	2	4	2	1	2	1	0	0	0
	その他	133	5	1	5	16	12	16	19	10	12	15	14	15	5	1	0
2-1	医療機関にて (治療・指導)	7	6	2	4	10	12	12	18	15	12	15	15	13	4	1	0
2-2	要精密	5	0	0	0	8	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
2-3	要保健師連絡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2-4	その他	122	2	0	2	1	2	4	3	1	1	2	2	2	1	0	0
県外等補助金申請分 (再掲)		5	6	2	8	8	12	15	19	29	41	50	46	40	31	15	6

力 多胎妊婦健康診査（単位：人）

受診券交付者実人数	17
受診実人数	0

キ B型・C型肝炎、子宮頸がん検診

（単位：人・％）

健診項目	HTLV-1 抗体検査	HBs 抗原検査	C型肝炎 抗体検査	子宮頸がん 検診	風疹 抗体検査
当該検査受診人数（E）	1,343	1,341	1,331	1,181	1,333
受診率（E/交付者数 A）	99.0	98.9	98.9	87.1	98.3
陽性者・要精密検査者等数※	3	5	0	15	490

※HTLV-1 抗体検査・HBs 抗原検査・C型肝炎抗体検査は陽性者数

※子宮頸がん検診は要精密検査数

※風疹抗体検査は予防接種要相談者数

ク 超音波検査

（単位：人・％）

回数	第1回	第2回	第3回	第4回
受診人数（F）	1,158	1,241	1,272	1,189
受診率（F/交付者数 A）	85.4	91.5	93.8	87.7

ケ 血液検査等

（単位：人・％）

区分	血液検査	血算検査	GBS 検査
受診人数（G）	1,254	1,147	1,174
受診率（G/交付者数 A）	92.5	84.6	86.6

コ お母さんお父さん教室

目 的：妊娠・出産・産褥および育児に関する正しい知識を普及し、妊婦自身の健康管理が適切に行えるようにすると共に、夫婦で出産や育児に備える心構えが持てるように支援する。

対 象：初妊婦（妊娠5か月以降）とその夫またはパートナー

内 容：1課：歯の健康の講話、2課：妊娠中と産後の食生活の講話、
3課：赤ちゃんのお世話と健康管理の講話と実習 他

スタッフ：歯科医師、保健師、栄養士、歯科衛生士

実施状況：

（単位：人・回・％）

区分 年度	初妊婦数	実施回数	実出席数		妊婦 出席率	延出席数	
			妊婦	夫		妊婦	夫
令和2	731	22	331	300	45.3	513	383
3	702	21	350	289	49.8	585	306
4	677	27	402	350	59.4	754	357
5	638	27	411	368	64.4	779	368
6	666	36	378	347	56.8	698	462

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度は4回、令和3年度は5回中止した。

サ プレパパママと先輩パパママ交流会

目 的：妊婦と夫またはパートナー、子育て中の夫婦等が、地域の子育て支援者となつたり、安心して子育てができる地域をつくる。

対 象：開催地区及び周辺に住む妊婦と夫またはパートナー、子育て中の親とその子

内 容：グループワークによる交流、地域の社会資源の紹介 他

スタッフ：民生委員児童委員、主任児童委員、読み聞かせの会、子育てサークル等

実施状況： (単位：回・箇所・人)

区分 年度	開催地区	回数	会場 数	参加者数	スタッフ 数
令和 2	天間、吉永・原田、富士南、今泉、 須津・浮島・元吉原、岩松・岩松北、丘、 富士川・松野、大淵、広見、鷹岡	11※ ¹	11※ ¹	81※ ¹	62※ ¹
3	岩松・岩松北、大淵、田子浦、富士北、 富士見台・吉永北・神戸・青葉台	5	5	74	52
4	須津・浮島・元吉原、田子浦、 富士川・松野、富士駅北、丘・広見、富士北、 富士南・富士駅南、天間・鷹岡、岩松・岩松 北、神戸・富士見台・吉永北・青葉台、 今泉、大淵、原田・吉永、伝法・吉原	17※ ²	17※ ²	246※ ²	188※ ²
5	須津・浮島・元吉原、田子浦、 富士川・松野、富士駅北、丘・広見、富士北、 富士南・富士駅南、天間・鷹岡、岩松・岩松 北、神戸・富士見台・吉永北・青葉台、今泉、 大淵、原田・吉永、伝法・吉原	24※ ³	20※ ³	330	271
6	須津・浮島・元吉原、田子浦、 富士川・松野、富士駅北、丘・広見、富士北、 富士南・富士駅南、天間・鷹岡、岩松・岩松 北、神戸・富士見台・吉永北・青葉台、今泉、 大淵、原田・吉永、伝法・吉原	20	18	314	253

※¹ 新型コロナウイルス感染症の影響により、岩松・岩松北地区は書面で開催した。

※² プレパパママの申し込みが1組のみだったため、原田・吉永地区は資料郵送にて対応した。

※³ プレパパママの申し込みがなかったため、大淵地区は書面で開催した。

シ 母子栄養強化事業(こども家庭課)

目 的：生活保護世帯、市民税(住民税)及び所得税非課税世帯の妊産婦と乳児に対して栄養食品を支給し、健康の保持・増進を支える。

支給期間：妊婦は、栄養食品支給申請書を受理した日の翌々週から、出産した日の属する月の末日。
産婦は、出産した日の属する月の翌月初日から3か月間。

乳児は、出生後、満4か月目の日の属する月の初日から9か月間。

支給品目：妊産婦は妊産婦授乳婦用粉乳、乳児は粉乳。

実施状況： (単位：人・月・箱)

区分 年度	支 給 対 象 者		支給延べ月	支 給 品 目
	妊産婦	乳児	月数	粉乳
令和 2	12	0	33	99
3	15	0	43	129
4	9	0	28	84
5	12	0	19	57
6	16	0	49	147

ス 富士市特定妊婦等の妊産婦事業に係るタクシー乗車利用金助成事業(こども家庭課)

目 的：妊産婦健康診査の受診及び産後ケア事業等を利用する特定妊婦等のタクシー乗車料金を助成することにより、産科医療機関等への移動に係る経済的負担の軽減を図り、特定妊婦等の健康保持増進に寄与する。

対 象：特定妊婦等のうち、経済的に困窮している者

実施状況： (単位：人・回)

区分 年度	実人数	延べ回数
令和 5	5	23
6	4	45

セ 新生児聴覚スクリーニング検査補助事業(こども家庭課)

目 的：新生児期における聴覚障害の早期発見及び早期療育を推進するため、公費負担による新生児聴覚スクリーニング検査を委託医療機関等において実施し、新生児期における聴覚検査の受診率向上を図る。

対 象：新生児又は乳児

内 容：聴覚検査の実施 自動聴性脳幹反応検査(自動ABR)又は耳音響放射検査(OAE)のいずれかの方法によるものとする。

実施状況：富士市妊産婦健康診査等補助金申請45件含む(自動ABR 37件 OAE 8件) (単位：人・%)

区分 年度	対象者 (出生数)		受診者数	検査方法		要再検査	
				自動 ABR	OAE	自動 ABR	OAE
令和 2	人数	1,566	1,435	1,115	320	13	1
	割合	100.0	91.6	77.7	22.3	1.2	0.3
3	人数	1,556	1,427	1,143	284	7	1
	割合	100.0	91.7	80.1	19.9	0.6	0.4
4	人数	1,466	1,327	1,080	247	7	1
	割合	100.0	90.5	81.4	18.6	0.6	0.4
5	人数	1,386	1,251	1,043	208	12	0
	割合	100.0	90.3	83.4	16.6	1.0	0
6	人数	1,242	1,100	1,017	83	12	1
	割合	100.0	88.6	92.5	7.5	1.2	1.2

ソ 産婦健康診査補助事業(こども家庭課)

目 的：産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査を公費助成により実施することで、産後の初期段階における母子に対する支援を強化する。

対 象：概ね出産後8週間以内の産婦

実施時期：第1回(産後2週間) 概ね出産後 5日から21日以内

第2回(産後1か月) 概ね出産後22日から56日以内

内 容：問診(生活環境、授乳状況、育児不安、精神疾患の既往歴、服薬歴等)

診察(子宮復古状況、悪露、乳房の状態等)

体重・血圧測定

尿検査(蛋白・糖)

こころの健康チェック表(エジンバラ産後うつ病質問票：EPDS)

実施状況：

産婦健康診査 1回目(富士市妊産婦健康診査等補助金申請 31件含む)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者 数	受診者 数	結果		要支援内訳 (重複あり)			エジンバラ				連絡票 (連絡率)
			異常 なし	要 支 援	機 関 紹 介	専 門 医 療	市 へ 支 援 依 頼	フ ォ ロ ー 病 院 継 続	9 点 以 下	9 点 以 上 ①	1 点 以 上 ② 項目 10	① か つ ②
令和2	1,548	1,453	1,280	173	3	93	95	1,258	141	15	39	111
		93.9	88.1	11.9	0.2	6.4	6.5	86.6	9.7	1.0	2.7	64.2
3	1,556	1,464	1,286	178	8	97	81	1,286	178	56	37	91
		94.1	87.8	12.2	0.5	6.6	5.5	87.8	12.2	3.8	2.5	45.0
4	1,466	1,364	1,201	163	1	101	70	1,215	149	36	23	106
		93.0	88.0	12.0	0.1	7.4	5.1	89.1	10.9	2.6	1.7	65.0
5	1,374	1,305	1,164	141	2	84	61	1,141	111	8	45	68
		95.0	89.2	10.8	0.2	6.4	4.7	87.4	8.5	0.6	3.4	48.2
6	1,237	1,191	1,010	181	2	88	91	996	151	5	39	96
		96.3	84.8	15.2	0.2	7.4	7.6	83.6	12.7	0.4	3.3	53.0

産婦健康診査 2回目(富士市妊産婦健康診査等補助金申請 46件含む)

(単位：人・%)

区分 年度	対象者 数	受診者 数	結果		要支援内訳 (重複あり)			エジンバラ				連絡票 (連絡率)
			異常 なし	要 支 援	機 関 紹 介	専 門 医 療	市 へ 支 援 依 頼	フ ォ ロ ー 病 院 継 続	9 点 以 下	9 点 以 上 ①	1 点 以 上 ② 項目 10	① か つ ②
令和2	1,548	1,547	1,458	89	5	59	29	1,407	74	23	43	31
		99.9	94.2	5.8	0.3	3.8	1.9	91.0	4.8	1.5	2.8	34.8
3	1,556	1,545	1,448	97	4	55	38	1,438	107	43	23	34
		99.3	93.7	6.3	0.3	3.6	2.5	93.1	6.9	2.8	1.5	35.1
4	1,466	1,448	1,347	101	0	57	45	1,342	106	41	24	39
		98.8	93.0	7.0	0.0	3.9	3.1	92.7	7.3	2.8	1.7	38.6
5	1,374	1,391	1,307	84	2	53	32	1,287	53	15	36	38
		101.2	94.0	6.0	0.1	3.8	2.3	92.5	3.8	1.1	2.6	45.2
6	1,237	1,238	1,161	77	3	33	41	1,129	63	10	36	28
		100.1	93.8	6.2	0.2	2.7	3.3	91.2	5.1	0.8	2.9	36.4

タ ハイリスク妊産婦（特定妊婦を含む）への支援（こども家庭課）

妊娠届出および転入した妊婦のハイリスク状況：

（単位：件・人・％）

区分 年度	妊娠届出	転入した妊婦	合 計	ハイリスクケース	
				人数	割 合
令和 2	1,587	98	1,685	565	33.5
3	1,531	100	1,631	683	41.9
4	1,436	92	1,528	713	46.7
5	1,319	72	1,391	648	46.6
6	1,356	55	1,411	704	49.9

令和 6 年度ハイリスク妊婦（実人数 704 人）の内訳：

（単位：人）

ハイ リス ク 区 分	10 代	35 歳 以 上 初 産 婦	40 歳 以 上	喫 煙	多 胎	精 神 疾 患	妊 娠 回 数	未 婚 ・ 未 入 籍	24 週 以 降 の 届 け 出	経 済 的 困 難	外 国 人	援 助 者 な し	望 ま ない 妊 娠	そ の 他
延人数	19	81	47	33	17	111	3	126	23	237	133	59	10	312

実施状況：

（単位：人・件・回）

区分 年度	支援 プラン 作成	家庭訪問						来所相談		電話相談		関係機 関連絡	ケー ス会議
		妊婦		産婦		乳幼児等		妊産婦		妊産婦			
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
令和 2	243	43	49	49	60	37	42	164	190	577	918	816	11
3	372	36	51	57	71	48	58	143	169	602	762	521	9
4	487	56	72	65	90	55	77	193	227	875	1,257	720	25
5	476	83	107	86	135	77	112	217	241	981	1,395	852	38
6	394	92	113	62	70	66	76	260	300	902	1,257	612	47

チ 特定妊婦への支援(こども家庭課)

目 的：妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする妊婦を特定妊婦とし、安定した妊娠出産・育児を迎えるための相談・支援を行う。

実施状況： (単位：人・件)

区分 年度	対象者	支援方法（重複あり）							
	実人数	家庭訪問	電話相談	来所相談	健診相談 ※ ¹	関係機関 連絡	医療機関 連絡 ※ ²	実務者 会議	ネットワ ーク会議
令和 2	46	60	227	79	11	316	59	10	11
3	43	89	160	70	6	138	51	10	8
4	41	114	369	88	12	337	44	10	25
5	36	175	347	86	12	355	66	10	36
6	38	122	240	96	17	201	56	10	39

※¹ 健診相談は、妊婦健康診査の受診介助を含む

※² 医療機関連絡は、妊産婦及び母子支援連絡票の送付数

ツ 妊産婦及び母子支援ネットワーク(こども家庭課・地域保健課)

目 的：特定妊婦等、気になる妊産婦や母子の早期発見や早期介入を行い、安心して出産・育児ができるよう医療機関と行政関係者が連携し、妊娠・出産・育児期にかかる切れ目のない支援をするため、妊産婦及び母子支援連絡票を活用する。

対 象：特定妊婦等、出産後の子どもの養育について妊娠期から継続的な支援を特に必要とする者
運用状況： (単位：件)

区分 内訳	妊産婦及び母子支援連絡票		妊産婦及び 母子支援報告票	その他 小児科等	
	妊婦	産婦・乳幼児		小児科	精神科
医療機関→富士市	9	260	0	39	0
富士市→医療機関	94	7	235	37	0

テ 富士市内産科医療機関及び助産所等情報交換会(こども家庭課)

目 的：市内産科医療機関及び助産所等の専門職(助産師、看護師等)と市保健師等が妊産婦支援に関する情報を共有し、胎児・乳児の虐待予防に努めるとともに、産前・産後ケアの充実を図る。また、関係機関と顔の見える関係を築き、より良い連携を図る。

実施状況：令和 7 年 2 月 6 日（木）13：30～15：30 庁舎 9 階第 2 委員会室 23 名参加

ト 多胎妊婦交流会(こども家庭課)

目 的：多胎妊娠の妊婦が多胎育児をイメージしながら安心して出産し、育児を行うことができるよう、多胎育児経験者との交流や専門職による相談等を行う。

スタッフ：助産師、多胎子育て経験者（フジツインパワーズ）、保健師

実施状況：年 2 回 (単位：人)

区分 日程	妊婦	家族（夫 他）
9 月 28 日（土）	2	1
2 月 15 日（土）	4	8

ナ 産前・産後サポート事業(こども家庭課)

目 的：妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、助産師等の専門家や子育て経験者等の相談しやすい「話し相手」による相談支援を行い、家庭や地域での妊産婦等の孤立感の解消を図り、健やかな育児ができるよう支援する。

スタッフ：助産師、子育て経験者

実施状況：年 48 回

会場：菜桜助産所

(単位：組・人)

区分 年度	参加延べ 組数	参加延べ 人数	内訳				
			妊婦	産婦	父	乳児	幼児
令和 2	377	757	16	364	0	346	31
3	383	781	11	373	1	353	43
4	477	956	14	463	0	446	33
5	279	557	39	238	1	232	47
6	244	494	9	236	2	232	15

会場：伝法まちづくりセンター・青葉台まちづくりセンター

(単位：組・人)

区分 会場	参加延べ 組数	参加延べ 人数	内訳					
			妊婦	産婦	父	その他	乳児	幼児
伝 法	250	531	5	246	8	19	250	3
青葉台	224	459	2	222	4	5	223	3
合 計	474	990	7	468	12	24	473	6

相談内容：

	基本的生活習慣			発育・発達				医学的 問題	環 境	育 児 方 法	保 育 の 機 構	そ の 他	身 体 計 測	合 計
	睡 眠	食 事	排 泄	身 体	言 葉	社 会 性	あ そ び							
菜桜助産所	23	54	9	50	2	4	10	8	3	19	5	9	66	262
伝 法	6	32	3	15	0	3	7	1	9	6	1	4	215	302
青葉台	11	22	1	14	0	1	6	2	9	2	4	2	131	205
合 計	40	108	13	79	2	8	23	11	21	27	10	15	412	769

ニ 産後ケア事業(こども家庭課)

目 的：市内産科医療機関や助産所に一定期間宿泊、日帰り又は訪問することにより、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を高め、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援する。

対 象：生後 1 歳までの乳児と母親

実施状況：

(単位：人・日・件・%)

区分 年度	実 人数	宿泊			日帰り		日帰り 2時間		訪問		申請理由（重複あり）					
		実 人数	延 人数	延 日数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	レス パイト (休養)	体 調 不 良	母 乳 育 児 ケ ア	授 乳 や 育 児 等 の 指 導	育 児 不 安	そ の 他
令和 2	221	27	29	116	32	181	-	-	184	576	83 14.4	5 0.9	325 56.4	286 49.7	12 2.1	5 0.9
3	296	28	31	95	87	197	-	-	253	672	134 13.2	10 1.0	452 44.7	390 38.5	26 2.6	0 0.0
4	301	22	22	66	134	291	-	-	265	627	207 16.4	7 0.6	528 41.9	499 39.6	17 1.3	3 0.2
5	295	30	31	85	128	299	115	211	131	371	216 19.8	6 0.6	444 40.8	407 37.4	13 1.2	3 0.3
6	328	38	45	131	111	230	179	365	199	445	161 12.2	13 1.0	590 44.6	411 31.0	105 7.9	44 3.3

ヌ はぐくむ FUJI 家事育児サポート事業(こども家庭課)

目 的：家事や育児の支援が必要な家庭に対して、家事、育児支援者（ヘルパー等）を派遣し、家事や育児の援助を行うことにより、対象者の負担や不安を軽減し、健やかな育児ができるよう支援する。

対 象：妊婦、1歳未満の乳児と同居している養育者、3歳未満の多胎児と同居している養育者
実施状況： (単位：件・人・時間)

区分 年度	申請数	利用実人数	利用時間
令和 3	243	20	186
4	378	43	546
5	405	54	1,032
6	190	93	1,237

再掲) 多胎利用状況：

(単位：人・時間)

区分 年度	妊婦 時間	0-1歳 時間	1-2歳 時間	2-3歳 時間	合計 時間
令和 3	0	1	1	0	2
	0	13	5	0	18
4	2	2	1	0	5
	7	46	8	0	61
5	0	8	2	1	11
	0	123	38	22	183
6	0	1	3	1	5
	0	5	99	26	130

ネ 初回無料チケット配付事業(こども家庭課)

(ア) 産後ケア事業

目 的：出産後から1年未満の母親が、産後ケア事業を気軽に体験できるように、初回に限り無料で利用できる訪問または日帰り2時間利用チケットを妊産婦に配付し、産後ケア事業の利用者数を増やし、地域の助産師に心身のケアをしてもらうことで、母子とその家族が健やかな育児や生活ができるよう支援する。

対 象：妊娠届出または転入をした妊婦と、令和6年4月1日以降に出産した産婦

実施状況： (単位：件)

区分 年度	訪問	日帰り2時間
令和6	130	65

(イ) はぐくむFUJI 家事育児サポート事業(こども家庭課)

目 的：はぐくむFUJI 家事育児サポート事業実施要領に基づき、妊娠中から出産後1年未満の母親または3歳未満の多胎児を養育中の母親が、気軽に家事育児サポートを体験できるように、2時間分無料で利用できるチケットを妊産婦に配付し、家事育児サポートの利用者数を増やし、地域の家事育児サポーターに家事や育児のサポートをしてもらうことで、母子とその家族が健やかな育児や生活ができるよう支援する。

対 象：妊娠届出をした妊婦、本市に転入した妊婦と、令和6年4月1日以降に出産した産婦

実施状況： (単位：人・時間)

区分 年度	利用実人数	利用時間
令和6	64	122

ノ はぐくむFUJI 出産・子育て応援事業(こども家庭課)

目 的：出産育児関連用品の購入費、妊娠期及び子育て期における支援サービスに係る利用者負担等の軽減を図るため、妊婦及び子育て家庭に対し、経済的支援として応援金を交付する。また、妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるように、妊娠期から出産・子育て期までの相談支援を充実させ、希望者に8か月相談を実施する。

対 象：出産応援金：妊娠届出の面接を受けた妊婦

子育て応援金：出産後、乳児家庭全戸訪問を受けた産婦

(ア) はぐくむFUJI 出産・子育て応援金支給状況： (単位：件・円)

区分 年度	種別	支給件数	1人あたり支給額	支給金額合計
令和5	出産応援金	1,338	50,000	66,900,000
	子育て応援金	1,408	50,000	70,400,000
6	出産応援金	1,332	50,000	66,600,000
	子育て応援金	1,275	50,000	63,750,000

(イ) 妊娠8か月相談実施状況： (単位：人・%)

区分 年度	対象者数	アンケート		訪問	面接	電話
		回収数	回収率			
令和5	1,273	1,042	80.9	5	73	135
6	1,204	990	82.2	10	26	190

ハ はぐくむ FUJI 物価高騰対策子育て応援金(こども家庭課)

目的：物価高騰の影響が大きい子育て世帯に対して臨時特別的な給付措置としてはぐくむ FUJI物価高騰対策子育て応援金を支給する。

対象：令和4年4月1日生まれから令和7年3月31日生まれの子の養育者

実施状況： (単位：件・円)

区分 年度	物価高騰対策 子育て応援金	1人あたり 支給額	全支給額
令和6	4,305	20,000	86,100,000

ヒ 出生届出時面接(こども家庭課)

目的：富士市で出生した母子が安心して過ごせるように、出生届出時に面接をし、出生通知書で赤ちゃんの出生状況や産婦の健康状態を把握し、母子を支える家族の支援体制等を確認し、必要な支援につなげる。子育て総合相談センター、母子保健事業、子育て支援事業の紹介をする。

実施状況： (単位：人・%)

区分 年度	出生数	面接数	実施率
令和2	1,566	1,575	100.6
3	1,556	1,551	99.7
4	1,466	1,459	99.5
5	1,386	1,366	98.6
6	1,242	1,210	97.4

フ 転入届出時面接(こども家庭課)

目的：富士市に転入してきたこどものいる世帯が安心して子育てができるよう、母子保健事業の紹介、子育て支援事業の紹介をする。育児状況等の面接をし、支援が必要な世帯は、地域保健課の地区担当保健師や関係機関につなぐ。

実施状況： (単位：人)

区分 年度	面接数	(再掲)		
		乳児	幼児	就学児以上
令和2	1,012	116	508	388
3	973	124	481	368
4	903	107	452	344
5	817	110	395	312
6	830	100	343	387

ヘ 妊娠・出産・子育て相談(こども家庭課)

目 的：妊娠・出産・子育てに関するワンストップの相談窓口として相談対応をする。

スタッフ：保健師、看護師、保育士

実施状況： (単位：件)

区分 年度	来所相談	電話相談
令和 2	173	329
3	153	265
4	162	265
5	44	91
6	21	46

ホ 子育て支援センター等訪問相談

目 的：児の身体測定及び育児の相談支援を行い、社会資源の周知や関係機関につなぐ。

スタッフ：保健師、保育士

実施状況： (単位：回・人・件)

区分 年度	訪問回数	周知人数	相談
令和 5	30	187	50
6	24	263	27

マ 妊娠 SOS 相談(こども家庭課)

目 的：望まない妊娠等、妊娠に関する何らかの問題を抱えた方への相談対応をする。

スタッフ：保健師、看護師

実施状況： (単位：件)

区分 年度	来所相談	電話相談	デジタル相談
令和 2	0	8	－
3	0	20	－
4	0	3	－
5	4	4	－
6	2	7	1

ミ 流産・死産相談(こども家庭課)

目 的：流産・死産で何らかのこころ等の問題を抱えた方への相談対応をする。

スタッフ：保健師、看護師

実施状況： (単位：件)

区分 年度	来所相談	電話相談	デジタル相談
令和 3	0	3	5
4	0	1	3
5	2	23	1
6	0	7	4

※令和 5 年度から、妊娠 8 か月アンケート送付前に、妊娠継続の有無を確認している。

(3) 乳児保健

ア 乳児健康診査

目 的：身体発育・運動機能・精神発達の遅滞等障害を持った児を早期に発見し、心身障害の進行を防止するとともに、母子関係の確立、乳児の栄養、事故防止、予防接種、その他育児に関する適切な指導が受けられるよう公費による乳児健康診査を委託医療機関において実施し、乳児と保護者の健康の保持増進を図る。

対 象：4 か月児、10 か月児

内 容：身体が発達及び栄養状況・身体の疾病及び異常の有無、運動機能・神経学的発達の状況及び異常の有無、予防接種の実施状況、事故防止の実施状況、その他の育児上問題となる事項の有無

実施状況：

(単位：人・%)

年度	区分	対象数	受診数	受診率	受 診 結 果				
					異常なし	要観察	要訪問	要精密	要治療
4 か 月 児	令和 2	1,610	1,574	97.9	1,449	68	0	19	38
					92.1	4.3	0.0	1.2	2.4
	3	1,556	1,507	96.9	1,382	57	0	26	42
					91.7	3.8	0.0	1.7	2.8
	4	1,505	1,483	98.5	1,340	69	0	25	49
					90.4	4.7	0.0	1.6	3.3
	5	1,428	1,388	97.2	1,273	66	0	18	31
					91.7	4.8	0.0	1.3	2.2
	6	1,304	1,244	95.4	1,112	63	0	22	47
					89.4	5.0	0.0	1.8	3.8
10 か 月 児	令和 2	1,661	1,595	96.0	1,439	106	0	11	39
					90.2	6.6	0.0	0.7	2.4
	3	1,610	1,499	93.1	1,354	100	0	11	34
					90.3	6.7	0.0	0.7	2.3
	4	1,556	1,481	95.1	1,322	107	0	19	33
					89.3	7.2	0.0	1.3	2.2
	5	1,474	1,391	94.4	1,264	80	0	8	39
					90.9	5.7	0.0	0.6	2.8
	6	1,354	1,302	96.2	1,179	78	0	16	29
					90.6	6.0	0.0	1.2	2.2

下段は受診結果割合

(ア) 4 か月児栄養方法

(単位：人・%)

年度	区分	母 乳		混 合		人 工		未記入	合 計
		実 数	割 合	実 数	割 合	実 数	割 合		
令和 2		519	33.0	503	32.0	529	33.6	23	1,574
3		434	28.8	483	32.1	577	38.3	13	1,507
4		383	25.8	466	31.4	619	41.7	15	1,483
5		312	22.5	440	31.7	623	44.9	13	1,388
6		274	22.0	386	31.0	576	46.3	8	1,244

(イ) 4 か月児健診虐待項目該当者への支援

- 目的：4 か月児健康診査後、虐待の早期発見・早期支援を行う。
 対象：4 か月児健康診査の虐待問診項目に該当する記載があった家庭
 内容：①乳幼児及び保護者の心身の状況、養育環境の把握
 ②育児に関する不安や悩みの相談
 ③関係機関との連絡調整

実施状況：

(単位：人)

区分 年度	対象者	対応方法		
		訪問	電話	来所相談
令和 2	58	4	34	20
3	40	3	16	21
4	46	5	11	30
5	44	3	7	34
6	29	1	12	16

イ 離乳食講習会・オンライン離乳食講習会

- 目的：離乳期の乳児を持つ保護者に対し講習会を実施することにより、児の発育及び発達状況に応じた離乳食の正しい知識を普及する。
 対象：初期 生後 3～5 か月頃の児を持つ保護者
 中期 生後 5～8 か月頃の児を持つ保護者
 後期・完了期 生後 8 か月以降の児を持つ保護者
 内容：離乳食に関する講義、離乳食の作り方紹介、個別相談、手遊び
 会場参加のみ試食(令和 5 年 8 月から再開)
 スタッフ：栄養士、保育士
 実施回数：48 回
 実施状況：

(単位：回・人)

区分 年度	初期		中期		後期		完了期	
	回 数	出席者数	回 数	出席者数	回 数	出席者数	回 数	出席者数
令和 2	19	272	—	—	9	88	10	54
3	21	241	11	106	10	60	10	41
4	24	347	12	144	12	105	12	52
区分 年度	初期		中期		後期・完了期			
	回 数	出席者	回 数	出席者	回 数		出席者	
令和 5	24	356	12	188	12		142	
6	24	379	12	190	12		159	

※令和 2 年度までは、中期を 6 か月児すくすく赤ちゃん講座内で実施した。

※令和 4 年度 9 月からオンライン講習会を開始。

※令和 5 年度から後期・完了期をまとめて実施。

ウ 6 か月児すくすく赤ちゃん講座

目 的：発達発育に個人差が出はじめ、離乳食の開始等、様々な変化が現れてくる生後 6 か月の
児と保護者を対象に、適切な養育、保護者自身の健康管理、保護者と児の正しい生活習
慣の獲得のための知識と情報を提供し支援する。

対 象：6 か月になる児とその保護者

内 容：身長・体重測定、食育と育児の話、健康・育児・栄養相談

スタッフ：保健師、栄養士、保育士、事務職員

実施回数：年 36 回

実施状況： (単位：人・％・件)

区分 年度	対象者数	出席者数	出 席 率	相 談 結 果	
				助 言	経過観察
令和 2	1,280	1,203	89.1	864	416
3	1,082	1,049	97.0	741	308
4	1,522	1,438	94.5	992	446
5	1,426	1,368	95.9	957	411
6	1,305	1,272	97.5	846	426

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 2 年度は 6 回中止、令和 3 年度は 12 回中止した。

※令和 3 年度は、講座中止期間の対象者に対して、個別支援を以下のとおり実施した。

令和 3 年度 講座中止対象者 (12 回分)・未受講者支援状況： (単位：人・％)

対象者数	対応者数	対応方法	相 談 結 果	
			助 言	経過観察
中止対象者 517 未受講者 55	567 (対応率 99.1)	電話 467、訪問 31、来所 69	438	129

エ 子育て相談

実施状況： (単位：件)

区分 年度	妊 産 婦		乳 児		幼 児	
	来 所	電 話	来 所	電 話	来 所	電 話
令和 2	229	619	334	1,108	318	869
3	203	324	312	834	269	747
4	156	362	328	635	361	960
5	92	288	260	457	302	874
6	126	307	275	453	200	707

(4) 幼児保健

ア 1歳6か月児健康診査

目 的：幼児初期の身体発育・精神発達の中で、歩行や言語などの発達の標識が容易に得られる1歳6か月児のすべてに対して健康診査を実施することにより、運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害を持った幼児を発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、幼児の栄養及び育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図る。

対 象：満1歳6か月を超え、満2歳に達しない幼児

内 容：一般健康診査、歯科健康診査、精密健康診査、フッ化物歯面塗布

スタッフ：小児科医師、歯科医師、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理職、事務職員

実施回数：実施回数 37 回

(ア) 受診状況と一般健康診査結果

(単位：人・%)

区分 年度	対象数	受診数	受診率	有 所 見		有 所 見 内 訳			再 掲
				実 数	率	身体面	精神面	身体精神面	
令和 2	1,478	1,470	99.5	782	53.2	402	216	164	289
3	1,829	1,814	99.2	1,043	57.5	515	282	246	239
4	1,714	1,689	98.5	1,014	60.0	405	343	266	407
5	1,555	1,547	99.5	962	62.2	380	331	251	327
6	1,534	1,502	97.9	971	64.6	327	391	253	379

※令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3～5月は中止し、6月以降1回の対象人数を40人として実施している。

※令和2年度から歯科健診結果を有所見に加えた。

(イ) 一般健康診査の事後指導の内訳

(単位：人・件)

区分 年度	精 密 健 康 診 査		こども発達 センター	指導及び経過観察			
	受診券発行	こども病院紹介	紹介・継続	おやこ相談	家庭訪問	電話連絡等	延件数
令和 2	20	2	33	17	50	441	508
3	18	0	45	13	71	608	692
4	15	3	47	12	44	658	714
5	24	1	41	10	28	662	700
6	24	0	29	9	29	719	757

(ウ) 精密健康診査受診結果

(単位：人)

区分	異常なし	要観察	要精密	要治療	未受診	合 計
受 診 券 発 行	6	11	4	1	2	24
こども病院紹介	0	0	0	0	0	0
合 計	6	11	4	1	2	24

(エ) 歯科健康診査結果

(単位：人・％・本)

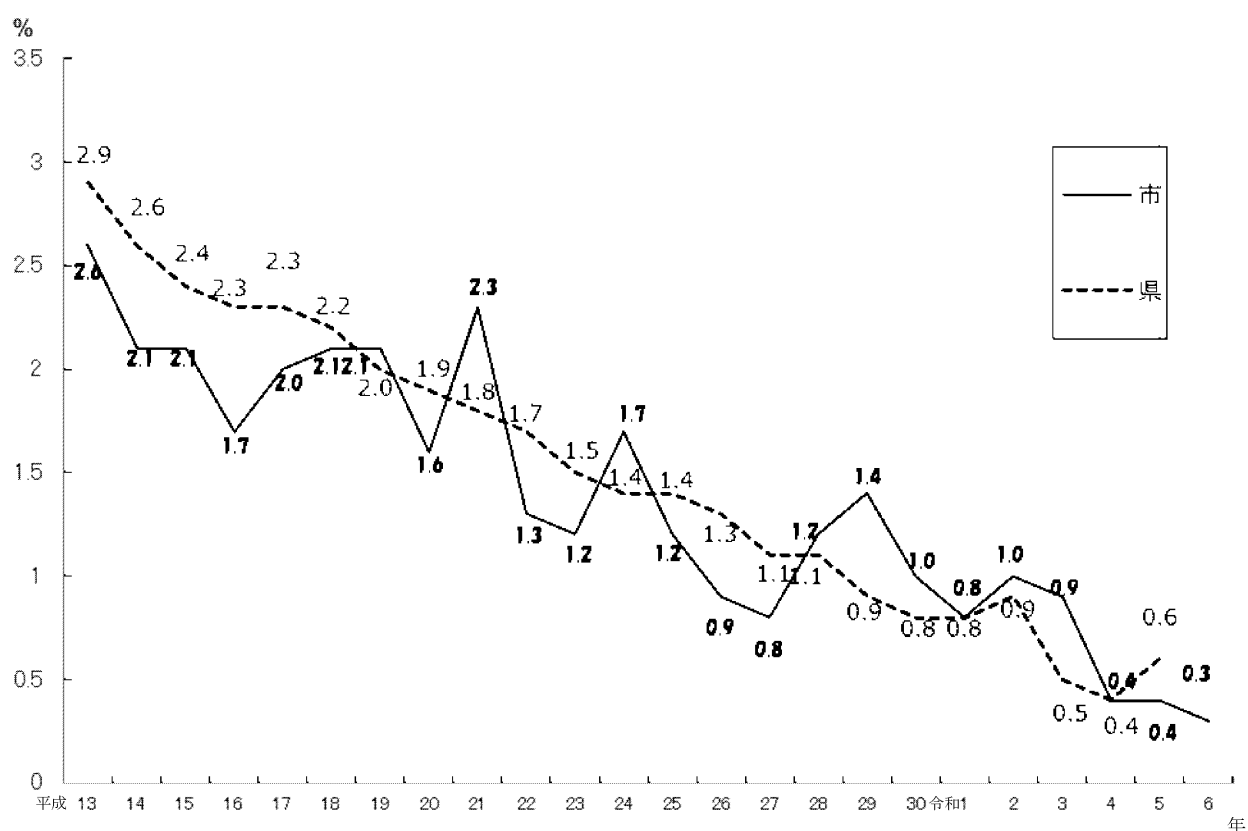
区分 年度	受診数	う歯有病者		う歯本数	1人平均 う歯本数	う歯の患型				歯列等の異常	
		人数	率			O2	A	B	C	反対咬合	その他
令和2	1,470	14	1.0	33	0.02	85	11	0	3	59	281
3	1,813	17	0.9	54	0.03	116	13	3	1	72	379
4	1,689	7	0.4	24	0.01	93	6	0	1	88	223
5	1,547	6	0.4	16	0.01	73	5	1	0	63	228
6	1,502	5	0.3	16	0.01	40	5	0	0	56	235

(オ) 歯の健康管理上不適切な習慣やしつけ

(単位：人・％)

区分 年度	指しゃぶり	仕上げみがきを しない	歯に関するしつけの悪い習慣			
			ジュース・乳酸 飲料を毎日飲む	母乳	哺乳瓶	おやつ時間を 決めていない
令和2	485(33.0)	60(4.1)	563(38.3)	174(11.8)	165(11.2)	476(32.4)
3	592(32.7)	69(3.8)	658(36.3)	254(14.0)	224(12.4)	592(32.7)
4	591(35.0)	67(4.0)	587(34.8)	228(13.5)	282(16.7)	584(34.6)
5	606(39.2)	73(4.7)	496(32.1)	181(11.7)	280(18.1)	558(36.1)
6	634(42.2)	54(3.6)	386(25.7)	186(12.4)	281(18.7)	507(33.8)

(カ) う歯有病者率の推移



イ 3歳児健康診査

目 的：幼児期において幼児の健康・発達の個人差異が比較的明らかになり、保健・医療による対応の有無が、その後の成長に影響を及ぼす3歳児のすべてに対して健康診査を行い、視覚・聴覚・運動・発達等の心身障害、その他疾病及び異常を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、う蝕の予防・発育・栄養・生活習慣・その他育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図る。

対 象：満3歳を超え、満4歳に達しない幼児

(通常3歳1か月児が対象であるが、令和6年度は3歳2か月児が対象であった。)

内 容：一般健康診査、歯科健康診査、眼科健康診査、眼科屈折検査、精密健康診査、フッ化物歯面塗布

スタッフ：医師、歯科医師、保健師、看護師、視能訓練士、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理職、事務職員

実施回数：実施回数42回

(ア) 受診状況と一般健康診査結果

(単位：人・%)

年度 区分	対象数	受診数	受診率	有 所 見		有所見内訳			再掲 育 児 状況等	再 掲	
				人数	率	身体面	精神面	身 体 精神面		肥満度 15%以上	
										人数	割合
令和 2	1, 497	1, 489	99. 5	854	57. 3	717	56	81	151	87	5. 8
3	1, 838	1, 815	98. 7	1, 191	65. 6	1, 020	50	121	178	91	5. 0
4	1, 771	1, 746	98. 6	1, 047	60. 0	821	76	150	194	75	4. 3
5	1, 800	1, 791	99. 5	1, 039	58. 0	813	83	143	213	102	5. 7
6	1, 764	1, 736	98. 4	1, 101	63. 4	854	88	159	185	108	6. 2

※令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3～5月は中止し、6月以降1回の対象人数を40人として実施している。

※令和2年度から歯科健診結果を有所見に加えた。

(イ) 一般健康診査の事後指導の内訳 (各年度3月末現在)

(単位：人・件)

区分 年度	精 密 健康診査	こども発達 セ ン タ ー 紹介・継続	おやこ相談	指導及び経過観察		延べ件数
				家庭訪問	電話連絡等	
令和2	213	92	2	18	73	398
3	327	132	3	15	85	562
4	281	160	2	14	106	563
5	274	162	5	22	99	562
6	316	147	5	9	149	626

(ウ) 精密健康診査(眼科健診以外)

(単位：人)

区分 年度	異 常 な し	要 観 察	要 検 査	要 治 療	合 計
令和2	38	16	2	0	56
3	47	24	2	2	75
4	44	11	3	2	66
5	32	11	7	0	50
6	43	9	1	0	53

(エ)眼科健診結果

(単位：人)

区分 年度	眼科健診 受診数	異常なし	既医療・ 経過観察	要精密健康診査	要精密			
					医師診察	問診	屈折異常の 疑い	検査不可 (判定不能)
令和 2	1,489	1,314	19	156	31	－	108	17
3	1,815	1,497	21	297	－	144	151	2
4	1,745	1,427	44	274	－	123	140	11
5	1,791	1,496	30	265	－	118	145	2
6	1,736	1,399	28	309	－	120	178	11

※令和 3 年度から医師診察の代わりにスポットビジョンスクリーナーを導入し問診からも精密検査へつなげた。

○精密健康診査結果(眼科健診)(各年度 3 月末現在)

(単位：人・％)

区分 年度	異 常 な し		要 観 察		要 検 査		要 治 療		合 計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
令和 2	34	28.4	60	50.0	10	8.3	16	13.3	120	100
3	104	46.6	73	32.7	26	11.7	20	9.0	223	100
4	74	38.4	73	37.8	18	9.3	28	14.5	193	100
5	62	38.5	57	35.4	12	7.5	30	18.6	161	100
6	75	37.7	69	34.7	25	12.6	30	15.1	199	100

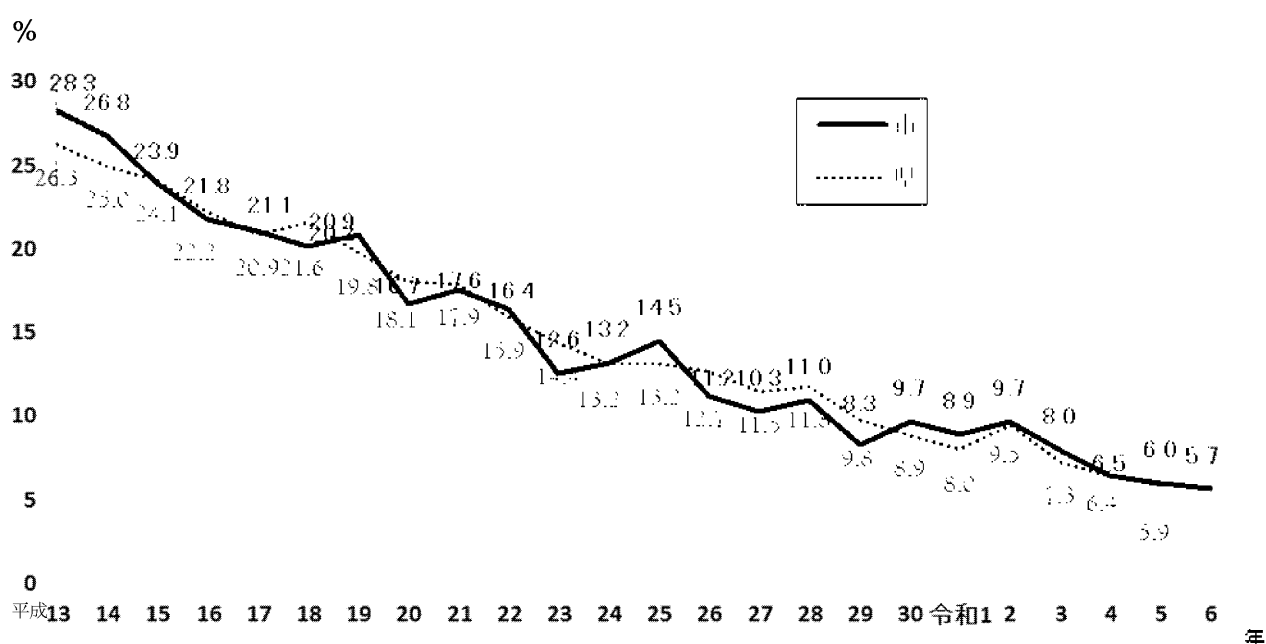
(オ)歯科健診結果

(単位：人・％・本)

区分 年度	受診数	う歯有病者		う歯の数		1 人平均 う歯本数	う歯り患型			不正咬合 のある者	口腔軟組織に 疾患のある者
		人数	率	未処置	処置		A	B	C		
令和 2	1,489	144	9.7	398	51	0.30	112	23	9	193	1
3	1,815	146	8.0	545	23	0.31	104	30	12	268	7
4	1,746	114	6.5	361	46	0.23	81	27	6	237	3
5	1,791	107	6.0	318	16	0.19	82	20	5	297	3
6	1,736	99	5.7	288	14	0.17	76	18	5	295	0

※う歯り患型 A 上顎前歯部のみまたは臼歯部のみのむし歯、B 上顎前歯部および臼歯部にむし歯のあるもの、C 1 下顎前歯部のみにむし歯のあるもの、C2 下顎前歯部を含む他の部位にむし歯のあるもの

(カ) う歯有病者率の推移



ウ 健診事後個別相談「おやこ相談」

目 的：乳幼児の健全な成長発達を促し、保護者が安心して子育てできるよう、個別に心理発達相談員による相談を実施する。

対 象：就園前の乳幼児と保護者

内 容：乳幼児の発達障害の早期発見と早期支援、保護者への子育て支援

スタッフ：心理職

実施状況： (単位：人)

区分 年度	実施人数 (実)	実施人数 (延べ)	保護者への 子育て支援	乳幼児の発達や 生活面
令和2	45	49	16	33
3	51	57	21	36
4	41	43	15	28
5	55	58	28	30
6	49	52	21	31

結 果： (単位：人)

区分 年度	終了	おやこ 相談継続	こども 発達センター 紹介	こども 家庭課 紹介	保健事業 経過観察	おやこ (にこにこ) 教室	合 計
令和2	3	4	13	2	19	8	49
3	7	7	6	4	27	6	57
4	8	0	12	1	13	9	43
5	9	2	5	1	29	12	58
6	4	1	7	0	26	14	52

エ 幼児発達支援事業「おやこ（にこにこ）教室」

目 的：発達面で気になる児の経過観察と保護者への育児支援を行い、この時期に必要な愛着形成や自己肯定感の確立を目指し、親子の健やかな成長を促す。

対 象：1歳6か月児健診又は健康相談（おやこ相談、電話・来所相談）等で把握された次のような親子を対象とする。

- ① 発達面のフォローが必要と思われる親子
- ② 育児環境面で支援が必要と思われる親子
- ③ その他、保健師・心理職の判断により支援が必要と思われる親子

内 容：手遊び、親子遊び、絵本、課題遊び等、親子の成長が期待できるようなプログラムを検討し実施する。

スタッフ：心理職、保育士、保健師

実施状況：（単位：回・人）

区分 年度	実施回数	対象実人数	実施延人数
令和2	9	30	98
3	9	28	85
4	12	42	180
5	12	58	191
6	12	59	191

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2、3年度は各3回中止した。

オ こども発達センター（からあ）紹介状況

乳幼児期において、発達上早期療育が必要と思われる児や療育相談を希望する保護者などに、こども発達センター（からあ）を紹介している。

（ア）相談受理数（単位：人）

区分 年度	保 健 事 業	経 過 観 察 後	家族から連絡	合計
令和2	36	54	7	97
3	48	53	2	103
4	58	63	7	128
5	52	33	4	89
6	58	48	7	113

（イ）結 果

（単位：人）

把握経路 相談結果	保 健 事 業	経 過 観 察 後	家族から連絡	合計
異 常 を 認 め ず	4	0	2	6
精 神 発 達 遅 滞	17	20	3	40
自 閉 症 及 び そ の 疑 い	27	21	0	48
言 語 発 達 遅 滞	0	1	1	2
構 音 障 害	3	0	0	3
肢 体 不 自 由	0	0	0	0
A D H D 及 び そ の 疑 い	3	0	1	4
運 動 発 達 遅 滞	0	1	0	1
発 達 全 体 の 遅 れ	0	2	0	2
そ の 他	3	0	0	3
キ ャ ン セ ル	1	3	0	4
合 計	58	48	7	113

※ 予約キャンセルケースには、保健師・心理職による経過観察・フォロー等を行っている。

カ フッ化物利用推進事業

目 的：幼児期からのむし歯予防(乳歯および永久歯の歯質の強化、初期むし歯の再石灰化の促進、歯垢中のむし歯原因菌の活動抑制を図ることにより、むし歯罹患リスクの減少)と自らの歯の健康意識の高揚を図る。

(ア)1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査におけるフッ化物歯面塗布

対 象：1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の受診者のうち保護者が希望する者

内 容：フッ化物歯面塗布

スタッフ：歯科衛生士

実施状況： (単位：人・%)

区分 年度	1歳6か月児健康診査		3歳児健康診査	
	歯科健診受診数	塗布数	歯科健診受診数	塗布数
令和2	1,470	1,205(82.0)	1,489	1,038(69.7)
3	1,813	1,542(85.1)	1,815	1,345(74.1)
4	1,689	1,614(95.6)	1,746	1,548(88.7)
5	1,547	1,456(94.1)	1,791	1,588(88.7)
6	1,502	1,411(93.9)	1,736	1,544(88.9)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年6～9月、令和3年8～9月、令和4年1～3月は幼児健診時のフッ化物歯面塗布を中止した。中止期間中の健診受診者には、別日程を設け希望者に実施した。

(イ)フッ化物利用推進講座

対 象：保育園・幼稚園等在園の4、5歳児とその保護者

内 容：むし歯予防・フッ化物利用推進のための講話、フッ化物洗口体験、ブラッシング指導

スタッフ：園歯科医師、歯科衛生士

実施状況： (単位：園・回・人)

区分 年度	全園数	実施園数	回数	出席者		
				園児	保護者	合 計
令和2	60	10	10	383	373	756
3	61	10	10	716	166	882
4	59	6	6	103	168	271
5	58	9	10	203	184	387
6	58	9	9	337	306	643

(ウ)親子はみがき教室

対 象：保育園・幼稚園等在園の4、5歳児とその保護者

内 容：むし歯予防等の講話、歯垢染め出し体験、ブラッシング指導、

園歯科医師によるフッ化物利用推奨

スタッフ：園歯科医師、歯科衛生士

実施状況： (単位：園・回・人)

区分 年度	全園数	実施園数	回数	出席者		
				園児	保護者	合 計
令和2	60	0	0	0	0	0
3	61	18	18	305	339	644
4	59	27	27	509	448	957
5	58	28	28	661	622	1,283
6	58	28	28	622	570	1,192

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は希望園において中止となった。

(エ) 4 歳、5 歳児への集団的フッ化物洗口法(週 5 日法)

対 象：フッ化物利用推進講座実施園に在園の 4、5 歳児のうち保護者が希望する者

内 容：フッ化物利用推進講座を経て、フッ化物洗口法(週 5 日法)

実施状況：

(単位：園・人)

区分 年度	全園数	実施園数	実施者		
			4 歳	5 歳	合 計
令和 2	60	9	154	460	614
3	61	17	109	607	716
4	59	10	119	422	541
5	58	10	106	425	531
6	58	10	99	414	513

※ (イ)・(ウ)・(エ) の全園数は、保育対象年齢が 3 歳未満の「えのき保育園」「富士さくら保育園」の 2 園を除く。

(5) 訪問指導

目 的：乳幼児や保護者の健康状態を確認し、健やかな妊娠・出産・育児を支援する。

対 象：妊産婦、乳幼児及び保護者

内 容：保健師・助産師・看護師による家庭訪問

実施状況： (単位：人)

区分 年度	総 数	妊 婦	産 婦	乳 児	幼 児	その他※
令和 2	4,495	5	1,656	1,899	451	484
3	4,206	13	1,718	1,762	349	364
4	3,940	4	1,636	1,730	342	228
5	3,841	10	1,520	1,581	330	400
6	3,466	1	1,429	1,506	219	311

※その他：父親・祖父母を含む

ア 乳児家庭全戸訪問事業

目 的：生後 4 か月までの乳児がいるすべての家庭に訪問し、不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握・助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切な支援を行う。

対 象：生後 4 か月までのすべての乳児

内 容：保健師・助産師・看護師による家庭訪問

実施状況： (単位：人・%)

区分 年度	対象者数	訪問数	実施率	新生児(再掲)
令和 2	1,499	1,458	97.3	57
3	1,590	1,556	97.9	19
4	1,543	1,506	97.6	12
5	1,409	1,399	99.3	24
6	1,291	1,263	97.8	19

新生児：生後 28 日以内

イ 未熟児訪問指導(地域保健課・こども家庭課)

目 的：未熟児は生理機能が未熟で疾病にかかりやすく、家庭環境に応じて適切な療育指導が必要になるため、児の健康状況の確認と保護者に対して育児支援を行う。

対 象：養育医療の申請に係る未熟児で、未熟児訪問依頼票が提出された児及び保護者、その他の未熟児(出生通知書・医療機関等より把握した者)

内 容：保健師・助産師による家庭訪問

実施状況： (単位：人)

区分 年度	対 象 数	訪 問 数	延べ訪問数
令和 2	112	112	116
3	136	134	138
4	135	129	131
5	140	138	142
6	111	108	109

ウ 養育支援訪問事業

目的：乳幼児の養育について支援が必要と思われる家庭に対し、安定した乳幼児の養育が可能になるよう、訪問等による支援を行う。

対象：母子健康手帳交付時等に養育上の問題が予測され生活指導が必要と判断された家庭、育児不安や負担感が強い家庭、養育問題があり生活指導が必要と判断された家庭、他機関からの連絡があった家庭、医療的ケア児をもつ家庭等

内容：保健師・栄養士による家庭訪問等

実施状況： (単位：世帯・人・回)

年度	実世帯数	対象者		支援延べ回数
		乳幼児	妊婦	訪問(来所含む)
令和2	410	435	16	810
3	426	531	19	683
4	416	504	14	765
5	462	520	14	789
6	533	606	19	951

エ 乳幼児健康診査未受診者家庭訪問事業

目的：乳幼児健康診査未受診の家庭に訪問し、乳幼児の発育の確認を行うとともに、育児不安や育児困難の保護者への支援を実施する。

対象：保育園・幼稚園への通園が確認できない乳幼児健康診査未受診の家庭

内容：①予防接種・健診受診の勧奨

②乳幼児・保護者の心身の状況及び養育環境の把握

③育児に関する不安や悩みの相談

④関係機関との連絡調整

実施状況： (単位：人・％・件)

区分	対象者数 (未受診者)	把握数					把握 割合	未把握数		訪問件数	
		家庭 訪問	電話 相談	来所 相談	受診	他 機関		転出 帰国	不在	日中	夜間
健診・講座											
4 か 月 児 健 診											
6 か 月 児 講 座	29	23	1	2	2	0	96.6	1	0	32	3
6 か 月 児 講 座											
10 か 月 児 健 診	5	1	1	0	1	0	60.0	2	0	8	1
1歳6か月児健診	28	1	1	2	18	4	92.9	2	0	14	1
3 歳 児 健 診	50	7	0	1	33	4	90.0	5	0	52	18
合 計	112	32	3	5	54	8	91.1	10	0	106	23

オ 主任児童委員等による見守り活動

目 的：母子保健事業において把握した育児不安を抱えている、支援者がおらず孤立しているなどサポートが必要な母子を主任児童委員や民生委員児童委員に紹介し、主任児童委員等は地域において母子への声かけや見守りなどを行う。

実施状況： （単位：人）

年度 \ 区分	紹介人数
令和2	14
3	7
4	19
5	12
6	11

(6) あったか子育て応援講座

目 的：安心して子育てができる地域づくりを推進していくため、富士市の子育て家庭に関心を持ち、挨拶や声かけを行うなど、子育て支援に参加する市民を増やす。

実施状況： （単位：団体・人）

年度 \ 区分	団体数	受講者数
令和2	55	670
3	45	633
4	41	760
5	28	695
6	36	722

※令和元年度は「ふじのくに少子化突破戦略事業費県補助金」を利用し、子育てサポーター証とバッジを作成、受講者に配布した。

(7) 地区における健康教育・相談事業

内 容：保健師や管理栄養士が地区活動及び関係機関等から依頼を受け健康教育・相談を実施している。

実施状況： （単位：回・人）

年度 \ 区分		健康相談	健康教育	健康教育内訳	
				食育講座	健康講座
令和2	回数	3	6	0	6
	延べ人数	44	55	0	55
3	回数	11	1	0	1
	延べ人数	71	5	0	5
4	回数	16	17	6	11
	延べ人数	213	787	583	204
5	回数	10	15	4	11
	延べ人数	144	693	479	214
6	回数	12	29	13	16
	延べ人数	119	1164	763	401

(8) 思春期保健

ア 思春期講座

目 的：性に関する正しい知識を伝え、自己の性行動に責任をもたせることと、生命の尊さを伝え、自分及び他者を大切にする心を育てる。

対 象：市内の中学校に通学する生徒

内 容：各中学校と協働で実施

① 講話

② 教諭・保護者・保健師・思春期講座サポーター等による赤ちゃん人形抱っこ体験

スタッフ：保健師、教諭、保護者、思春期講座サポーター等

場 所：各中学校

実施状況：

(単位：回・校・人)

区分 年度	回 数	実施校数	参加者数				
			生徒	教諭	保護者	サポーター	その他
令和2	3	3	166	22	0	12	8
3	10	10	956	70	0	22	14
4	12	11	1,049	77	9	39	5
5	11	11	1,161	74	6	52	0
6	9	8	842	65	10	43	4

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は7校、令和3年度は1校中止した。

イ 思春期講座サポーター養成事業

目 的：「思春期講座」に参加して生徒たちに赤ちゃん(人形)の抱っこ体験を指導し、命の大切さについて伝えていただく方を募集し、地域ぐるみで子育てを支援することを推進する。

実施状況：

(単位：人)

区分 年度	実人数	事前学習会参加者数
令和2	135	22
3	124	18
4	71	22
5	52	34
6	45	15

(9) 母子保健事業体系

令和6年度

各期	富 士 市
結 婚	妊孕性と不妊治療についての周知 不妊・不育治療費補助事業
妊 娠	母子健康手帳の交付・妊婦保健指導 はぐくむFUII 家事育児サポート事業 はぐくむFUII 出産・子育て応援事業 富士市内産科医療機関及び助産所等情報交換会 特定妊婦等の妊産婦事業に係るタクシー乗車料金助成 妊婦健康診査・多胎妊婦健康診査 (医療機関等で実施・里帰り含む) 多胎妊婦交流会 妊産婦訪問指導 お母さんお父さん教室 母子栄養強化事業
新生児 乳児	新生児聴覚スクリーニング検査 産婦健康診査 産後ケア事業 未熟児訪問指導 1 か月児健康診査 (医療機関で実施) 乳児家庭全戸訪問事業 養育支援訪問事業 4 か月児健康診査 (医療機関で実施) 4 か月児健診虐待項目該当者への支援 6 か月児すくすく赤ちゃん講座 (ブックスタートふじ・富士ヒノキ製玩具贈呈事業) 離乳食講習会 乳幼児健診未受診児訪問 10 か月児健康診査 (医療機関で実施)
幼 児	子育て相談 (電話・来所・訪問) 富士市要保護児童対策地域協議会実務者会議 (こども家庭課) 乳幼児健康教育・健康相談 子育てサークル支援事業 1 歳 6 か月児健康診査 1 歳 6 か月児精密健康診査 (市内医療機関で実施) 3 歳児健康診査 (セカンドブックふじ) 3 歳児精密健康診査 (医療機関で実施) フッ化物利用推進事業 幼児発達支援事業 おやこ(にこにこ)教室 おやこ相談 こども発達センター 歯と口の健康週間事業
学童 思春期	思春期講座 思春期講座サポーター養成事業

あ
つ
た
か
子
育
て
応
援
講
座

主任児童委員等による見守り活動

医療機関紹介・早期療育事業との連携・妊産婦及び母子支援ネットワーク事業

産前産後サポート事業

プレパパママと先輩パパママ交流会

こども家庭センター(こども家庭課・地域保健課)

5 食育推進事業

食育とは

- 生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- 様々な体験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

(1) 第4次富士山おむすび計画～富士市食育推進計画～

本計画は、国の「食育基本法」に基づき、「食」を大切にする心の欠如、栄養の偏り、肥満や生活習慣病の増加、「食」の安全上の問題等の食をめぐる現状に対処し、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、食育推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的に、令和4、5年度の2か年で策定したものである。

ア 計画の期間

令和6年度～令和10年度(5か年計画)

イ 計画の内容

本計画は、基本理念を「食で育む健全な心とからだ」と定め、その理念を達成するため、全市民を対象に以下の施策を推進していくこととしている。

<基本方針と基本施策>

食を通して心身の健康を育む	食を通して豊かな人間性を育む	食への理解を深める
○望ましい食習慣の定着 ○栄養バランスの良い食生活の推進 ○食を通しての生活習慣病の予防・改善 ○食生活を維持するための歯と口の健康増進	○家族や仲間と楽しく食べる習慣の定着 ○基本的な食事作法の定着の推進 ○食文化の伝承	○環境への配慮 ○食の安全・安心確保 ○地産地消の推進 ○食育体験活動の推進

ウ 計画の実施

計画を効果的に推進するため、単年度ごとに実施計画を作成し、より具体的に施策を推進するとともに、全庁的な推進を図るため、地域保健課を中心に庁内組織である食育推進連絡会及び担当者部会を設置し、計画の総合的な推進を図る。

また、実施計画に位置づけられた各事業の達成状況を元に、食育推進会議において毎年進捗状況の検証及び評価を行っている。

(2) 令和6年度食育推進事業

ア 会議

(単位：回)

市 民 会 議	回数	庁 内 会 議	回数
食育推進会議	3	食育推進連絡会	1
食育推進事業実行委員会	3	食育推進連絡会担当者部会	1

イ 食育推進計画PR事業

(ア) 第16回富士山おむすび計画食育弁当コンテスト

目的：市民の食育への関心を高めるために、栄養バランスや地産地消に配慮した「食育弁当コンテスト」を開催した。

応募点数：4,374点（応募人数：4,373人） 市民投票数：2,935票

入賞：（単位：点）

	賞	作品数
総合グランプリ	魚・大豆を食べま賞	1
グランプリ	彩り賞	1
	バランスいいで賞	1
	地産地賞	1
	野菜・海藻・きのこ賞	1
	キャラ弁賞	1
	金賞	6
	銀賞	24
	特別賞	13

(イ) 食育啓発事業

下記イベント等で、富士山おむすび計画や食育の啓発・PR活動を行った。

実施状況：（単位：人）

事業名	内容	参加人数
さくら祭り（鷹岡地区）	豆つかみゲーム・食育啓発冊子配布	310
食育月間PR展示	食育月間PR展示・食育弁当コンテスト作品展示	1,000
歯っぴい健口フェスタ	フードモデル展示・食育啓発冊子配布	450
静岡ガス 食育フェスタ	野菜摂取普及啓発・食育啓発冊子配布	1,056
キッチンカーマルシェ	野菜苗当てクイズ・抽選くじ・食育啓発冊子配布	167
鷹岡地区文化祭	食育啓発冊子配布	200
なんでも富士山2025	食育弁当コンテスト表彰式・食育クイズ（お茶の飲み当て）・抽選くじ・食育啓発冊子配布	2,350
ふじ食プロジェクト（12回）	園児・保護者への食育ぬり絵・食育啓発冊子の配布・食育4コマ漫画展示等	4,272
合 計		9,805

ウ その他食育事業

(ア) 食育講演会

（単位：人）

内 容	会場	講 師	参加人数
味噌作り体験学習 （講話・味噌作り体験）	吉原小学校	深澤宏介氏（深澤味噌店）	240

(イ)小中学生栄養調査

目 的：食習慣質問票を用いて、調査時点の直近 1 か月の食事の内容を調査することにより、個人及び所属集団の栄養・健康状態を明らかにする。

実施状況： (単位：人)

学校名	学 年	実施人数	結果説明
神戸小学校	6 年生	17	食生活講座 (児童 27)
吉永第二小学校	6 年生	17	食生活講座 (児童 17)
富士見台小学校	6 年生	42	食生活講座 (児童 44)
吉原第一中学校	1 年生	162	食生活講座 (生徒 175)
吉原北中学校	1 年生	105	食生活講座 (生徒 108)

(ウ)食育啓発講座等の開催

実 績：45 回／年(参加者：1,535 人)

(エ)高校生の健康づくり支援事業

目 的：高校生のうちから自分の健康は自分で守る力を身につける、生徒を通じた家族ぐるみでの健康的な食生活の意識向上を目的に、高校の文化祭等イベントでの普及啓発や食生活講座を実施する。

{ア} 文化祭等イベントでの健康づくり普及啓発

対 象：富士市内高等学校

内 容：食生活チェック、インボディ測定、血管年齢測定、情報コーナー、栄養相談

スタッフ：栄養士、食生活推進員

実施状況：3 校 3 回 延べ 553 人

{イ} 食生活講座の開催

対 象：富士市内高等学校

内 容：食事バランスについての講話、調理実習

スタッフ：栄養士、食生活推進員

実施状況：3 校 3 回、延べ 159 人

(オ)食育推進地区事業

【吉原地区】

(単位：回・人)

事 業 名	内 容	回数	人数
食育アンケート	吉原地区全世帯に食育アンケートを実施	1	5,509
文化祭での啓発	血圧測定、味覚チェック、栄養相談、禁煙模型展示、食育 4 コマ漫画・吉原小食育弁当作品展示	1	291
防災訓練でのパッククッキング	パッククッキング、家庭備蓄資料配布	1	40
親子和菓子作り体験	伝統的な和菓子に関する講話、ねりきり作り体験、試食	1	68
吉原まるごとマルシェ	野菜の花当て食育クイズ	1	650
合 計		5	6,558

【伝法地区】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
食育アンケート	伝法地区全世帯に食育アンケートを実施	1	4,490
梅スイーツフェア 2024	ベジチェック・野菜マシマシチェック表・食育 4 コマ漫画・日本型食生活展示	1	29
伝法わくわくフェスタ	血圧測定、ベジチェック、味覚チェック、栄養相談、食育ペーパークラフト、食育 4 コマ漫画展示	1	715
伝法スポフェス	水分補給クイズ、食育 4 コマ漫画展示	1	168
お弁当の写真展示	伝法小学校児童の作ったお弁当の写真をまちづくりセンターに展示	1	200
合 計		5	5,602

(カ) 食育推進校事業

【吉原小学校】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
野菜栽培体験 (1・2 年生・支援級)	野菜栽培・収穫体験 (夏野菜、サツマイモ、じゃがいも)	7	327
味噌作り体験学習 (4～6 年)	講話、味噌作り体験	3	240
だしの出前授業(5 年生)	だしソムリエによるだしとり実演、講話、試飲	3	82
饅頭作り体験 (4 年生・支援級)	地元菓子店による伝統的な和菓子に関する講話、饅頭作り実演・体験、試食	3	91
日本料理出前授業 (6 年生)	地元日本料理店による和食に関する講話、実演、試食	3	83
エコ・クッキング講座 (4 年生)	エコ・クッキングナビゲーターによる講話、実演、試食	2	70
さつまいもスイーツ作り (1 年生)	収穫したサツマイモを使ったフルーツきんとん作り	2	69
合 計		23	962

【伝法小学校】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
野菜栽培体験 (2・5年生・支援級)	野菜栽培・収穫体験（夏野菜、サツマイモ、じゃがいも、玉葱）	7	468
エコ・クッキング講座 (4年生)	エコ・クッキングナビゲーターによる講話、実演、試食	3	97
だしの出前授業(5年生)	だしソムリエによるだしとり実演、講話、試飲	4	117
キャベツの出前授業 (3年生)	地元キャベツ農家による出前授業（講話、キャベツ・苗の見学）、地元産キャベツを学校給食で提供	1	113
お茶と花の出前授業 (3年生)	花器作り、お茶点で体験、試飲	2	113
お弁当のおかず作り (6年生)	地元の食材を使って、お弁当のおかずを作る (しらす卵焼き・ほうれん草の乾物和え)	4	108
牛乳出前授業（1年生）	学校給食牛乳提供業者による講話、ヨーグルトの試食	1	92
弁当の日（6年生）	6年生が作ったお弁当の写真を撮り、まちづくりセンターに展示	1	108
お魚解体見学 (5・6年生)	鰯の解体見学、食育講話、試食	4	229
合 計		27	1,445

【吉原第一中学校】

(単位：回・人)

事業名	内 容	回数	人数
エコ・クッキング講座 (2年生)	エコ・クッキングナビゲーターによる講話、実演、試食	6	184
チャレンジ！鰯の三枚おろし！	鰯の三枚おろし実演・体験、調理、食育講話	5	173
栄養調査結果説明 (1年生)	栄養調査結果説明と成長期の食生活に関する講話	5	175
伝統的な和菓子出前授業 (3年生・支援級)	伝統的な和菓子に関する講話、ねりきり作り体験	7	204
合 計		23	736

(3) 食生活推進員活動支援事業

目的：食生活推進員が行う食生活改善並びに食育に関する普及啓発活動を支援する。

内容：役員会、育成研修の実施。食生活推進員の活動を支援。

対象者：富士市食生活推進員会員 79 人

ブロック別食生活推進員会員数：

(単位：人)

ブロック	地 区	会員数
中部	吉原・伝法・今泉・青葉台・広見	17
北部	神戸・大淵・富士見台・吉永北・鷹岡・丘	11
東部	須津・浮島・元吉原・吉永・原田	14
南部	駅北1・駅北2・富士北・富士南・駅南・田子浦	18
西部	岩松北・岩松・富士川・松野・天間	19
合 計		79

ア 研 修

(単位：回・人)

区分	内 容	回数	食推人数
総会	総会及び研修会「消費者安全啓発講座」	1	51
研修会	調理実習 富士市の学校給食 サイダーかん	3	58
	講話・実技 座ってできる簡単体操	1	47
	調理実習 日本料理・深秋の献立 新米の土鍋ごはん	3	61
	調理実習 脂質異常症の食事療法	3	65
	調理実習 健康クッキング新献立	4	68
	講話 食の安全情報の読み解き方	1	61
合 計		16	411

イ 活動状況

(単位：回・人)

	活 動 内 容	回数	一般参加数	食推人数
健康クッキング	小学生ラーメン作り (事前準備含む)	15	233	118
自主活動	おからクッキー作り	1	-	9
	富士川第一小学校 児童クラブ (カレーライス)	1	70	7
	ArtFes ふじかわ 2024 を楽しんじゃう秋祭り (ベジチェック)	1	200	6
	岩松まちづくりセンター (味噌作り)	1	20	3
全体活動	富士市立高校文化祭 (朝食クイズ等)	1	195	6
	富士見中学校・高等学校文化祭 (食生活チェック等)	1	166	7
	吉原工業高校文化祭 (食生活チェック等)	1	192	6
	富士東高校食生活講座 (ラーメン作り)	1	25	5
	吉原高校食生活講座 (ラーメン作り)	1	21	6
	伝法小学校食育推進校事業 (お弁当のおかず作り)	1	108	15
	吉原小学校食育推進校事業 (さつまいも茶巾絞り作り)	1	66	6
	伝法わくわくフェスタ (味覚チェック・お塩の取り方チェック)	1	715	6
	なんでも富士山 2025 (お茶飲み当てクイズ)	1	2,000	16
	食生活推進員養成講座	1	9	3
	富士宮市食育ボランティア 50 周年記念講演参加	1	-	3
合計		30	4,020	222

ウ 活動に関する会議

(単位：回・人)

会議	回数	食推延べ人数
富士市食生活推進員役員会	6	66
富士市食育推進事業実行委員会	3	3
合計	9	69